

愛媛の国有林

令和6年度

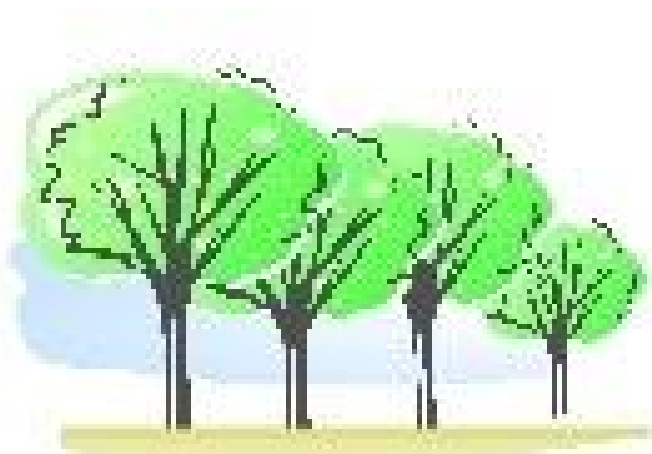
土小屋登山道より石鎚山を望む



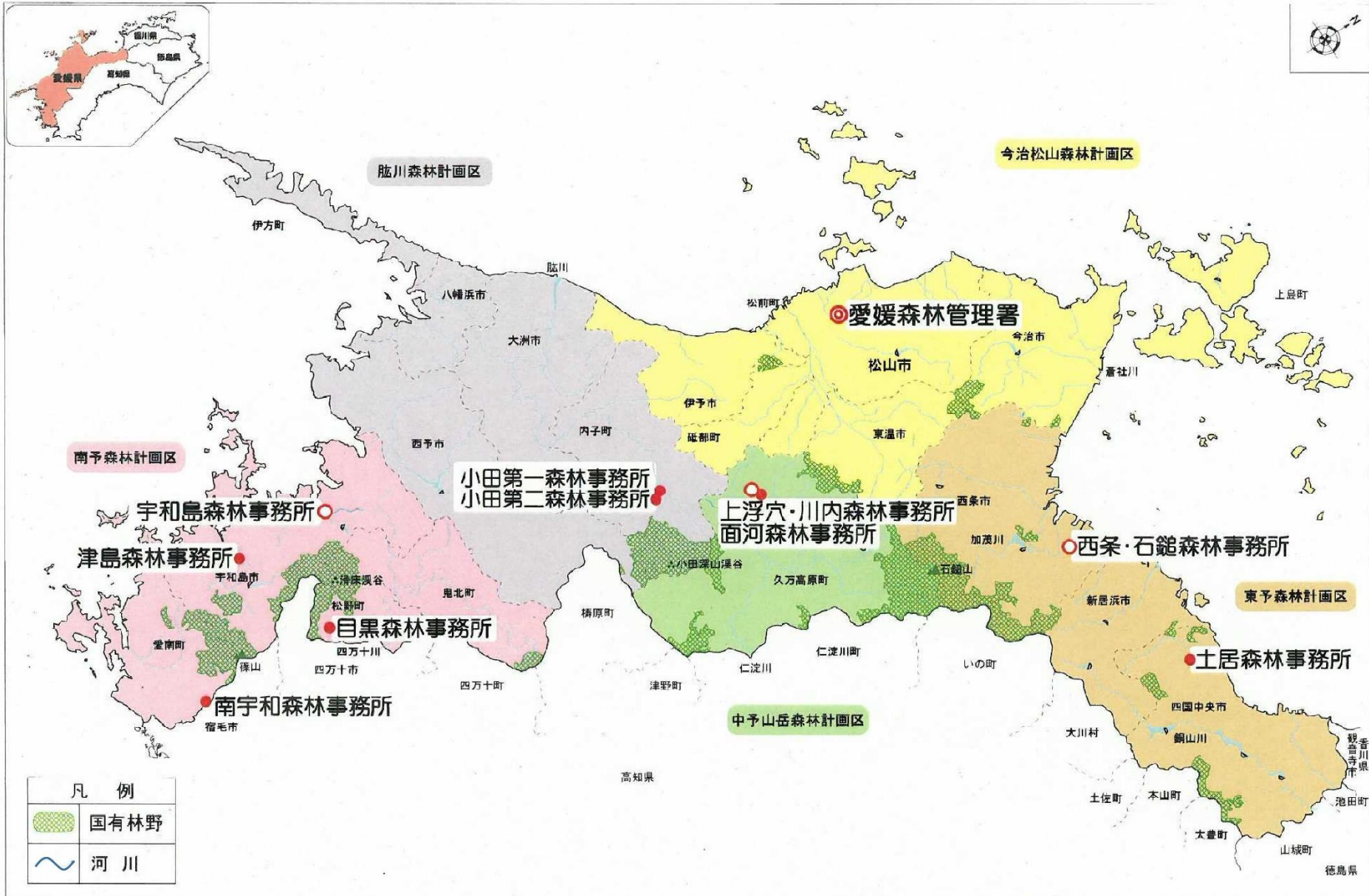
愛媛森林管理署



国民の森林・国有林



愛媛森林管理署管内 国有林分布図



I 管内国有林の概要

愛媛森林管理署が管轄する国有林は、主に、西日本最高峰の石鎚山（1,982^m）を主峰とした四国山脈脊梁部の中部及び西部、さらには景勝地としても親しまれている南部の滑床溪谷や篠山周辺に分布しています。

面積は約4万ヘクタール（国有林野：3万7千^{ha}、官行造林地：3千^{ha}）で、愛媛県全体の森林面積約40万ヘクタール（県土面積の7割）の1割にあたります。

これらの国有林は、石鎚山系はもとより、製紙や織物などの工業地帯である瀬戸内沿岸、全国一の柑橘生産や豊かな漁場を擁する南予地域等の上流域に位置し、山地災害の防止や水源の涵養に重要な役割を担っています。

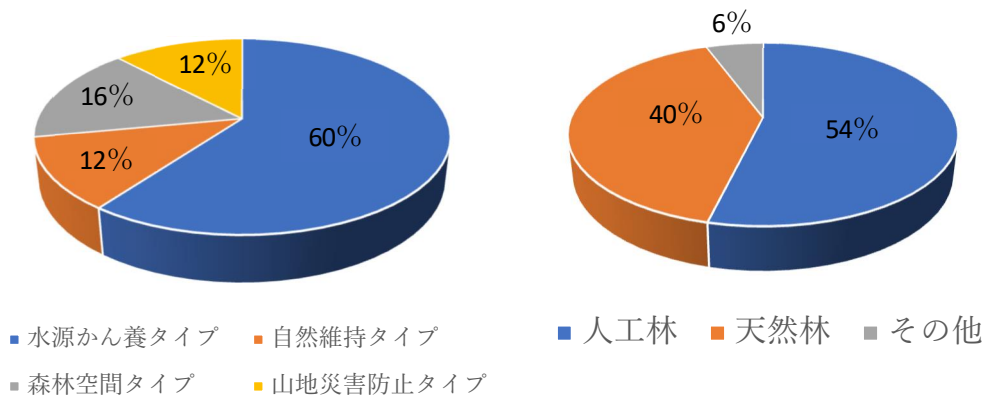
また愛媛県は、スギ優良材生産で知られる久万林業地を代表格に、ヒノキ生産量でも全国トップクラスの林業県で、CLTを丸太の加工から一貫生産できる集成材・CLT工場があるなど木材産業が盛んな県です。国有林では、人工林の間伐や主伐・再造林を適切に行い、木材の継続的な利用と安定的な供給を行うことが、地域の林業・木材産業を支えるために重要となっています。

さらに、石鎚山系や滑床溪谷、篠山をはじめとして、優れた森林生態系や貴重な動植物の生息・生育地を有し、景勝地としても多くの観光客が訪れる国有林においては、これらの保全と利用を適切に調和させ、地域経済に貢献することが求められています。

こうした自然的・社会的・経済的要請を踏まえ、森林の多面的な機能を高度に発揮するよう、適切な管理経営を行っています。

1 機能類型別面積比率及び人天別面積比率

国有林野面積 37.3千ha



2 市町別国有林面積

(単位ha)

流域	市町	国有林野	官行造林	面積	流域	市町	国有林野	官行造林	面積
今治松山	松山市		93	93	肱川	西予市	1,063	81	1,144
	今治市	965		965		内子町	4,416		4,416
	伊予市	121		121		計	5,479	81	5,560
	東温市	1,242	13	1,255	南予	宇和島市	5,662	48	5,711
	砥部町	185		185		松野町	1,734	52	1,786
	計	2,513	106	2,618		鬼北町	1,635	132	1,767
				愛南町		2,736	336	3,073	
東予	新居浜市	84	473	557	計	11,768	569	12,337	
	西条市	6,938	737	7,675	総計	37,341	3,246	40,587	
	四国中央市	1,941	529	2,470					
	計	8,963	1,739	10,702					
中予山岳	久万高原町	8,619	751	9,370					
	計								

注)四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。



3 国有林野の流域別林種別面積及び蓄積

(単位：上段 ha、下段 m³)

流域		人工林		天然林		その他 (人伐含む)	計
		育成単層林	育成複層林	育成複層林	天然生林		
今治松山	面積	1,480	22	35	892	83	2,513
	材積	549,945	12,873	4,237	143,822		710,877
東予	面積	3,334	17	439	4,781	392	8,963
	材積	1,224,620	7,578	57,114	566,474		1,855,786
肱川	面積	3,584	40	239	1,280	336	5,479
	材積	1,188,691	16,956	41,759	197,120		1,444,526
中予山岳	面積	3,133	37	102	4,553	794	8,619
	材積	1,076,931	13,693	18,086	1,040,957		2,149,667
南予	面積	8,279	168	176	2,638	507	11,768
	材積	2,947,999	63,339	40,827	484,135	599	3,536,899
計	面積	19,809	284	992	14,145	2,111	37,341
	材積	6,988,186	114,439	162,023	2,432,508	599	9,697,755
比率	面積	53%	1%	3%	38%	6%	100%
	材積	72%	1%	2%	25%	0%	100%

注)四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

II 管理経営の方針

愛媛森林管理署は、間伐等森林整備を着実に実施し、国有林の有する公益的機能をより一層発揮するとともに、木材の安定供給や先進的な技術の積極的な導入等を進め、利用期を迎えた森林資源を活かした林業成長産業化に、民有林と一体となって貢献するよう努めます。

さらに、これらの取組を通じて地元との連携を深め、地域の活力創生に寄与することを旨として、国有林を管理経営しています。

1 国有林野の機能類型区分

区 分	機能類型区分の考え方（対象）	管理経営の考え方（施業方法）
山地災害防止タイプ	土砂の流出・崩壊、落石等の山地災害による人命・施設の被害の防備その他災害に強い国土基盤の形成に係る機能を重点的に発揮させるべき森林	根系や表土の保全、下層植生の発達した森林の維持 また、必要に応じて治山施設等を整備
自然維持タイプ	原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存等自然環境の保全に係る機能を重点的に発揮させるべき森林	原生的な自然環境を保持する森林、希少な生物の生育・生息に適した森林の維持
森林空間利用タイプ	スポーツ又はレクリエーション、教育文化、休養等の活動の場及び優れた景観の提供に係る機能を重点的に発揮させるべき森林	保健、文化、教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持、造成
快適環境形成タイプ （該当なし）	騒音の低減や大気の浄化、木陰の提供等による気象緩和等人間の居住環境を良好な状態に保全する機能を重点的に発揮させるべき森林	防音や大気浄化に有効な森林の幅を維持するため、原則として育成複層林へ導くための施業
水源かん養タイプ	国民の生活に欠かせない良質で豊かな水の供給に係る機能を重点的に発揮すべき森林	浸透、保水能力の高い森林土壌を維持し、根系や下層植生の良好な発達が促進されるよう森林を整備

2 機能類型別面積（流域別）（単位：ha）

機能類型	流域					
	今治松山	東予	肱川	中予山岳	南予	計
山地災害防止タイプ	(29%) 719	(14%) 1,278	(15%) 810	(10%) 839	(7%) 853	(12%) 4,499
自然維持タイプ	—	(13%) 1,125	(4%) 223	(35%) 3,029	(0%) 55	(12%) 4,433
森林空間利用タイプ	(10%) 262	(24%) 2,143	(6%) 324	(16%) 1,404	(15%) 1,822	(16%) 5,955
水源かん養タイプ	(61%) 1,531	(49%) 4,417	(75%) 4,122	(39%) 3,346	(77%) 9,038	(60%) 22,454
計	2,513	8,963	5,479	8,619	11,768	37,341

注) 四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

注) 快適環境形成タイプは、該当なし。

3 保安林の指定状況

令和6年3月31日現在（単位：ha）

種 別	面 積			備 考
	国有林	官造	計	
水源かん養保安林	33,249	1,128	34,376	洪水や濁水の緩和、水を育む効果
土砂流出防備保安林	1,049	1,949	2,998	土砂の流出、崩壊による土石流を抑制する
土砂崩壊防備保安林	5		5	山崩れを抑制する
干害防備保安林	(101)		(101)	簡易水道などの水源の濁水を抑制する
潮害防備保安林	19		19	塩害や津波・高潮による被害を抑制する
魚つき保安林	(19)		(19)	魚類の繁殖を助ける
保健保安林	41		41	森林のレクリエーション等の場の提供や煤煙等のろ過機能の発揮
	(7,048)		(7,048)	
計	34,362 (7,167)	3,077	37,439 (7,167)	※（ ）書きは兼種指定

III 令和6年度の主要事業の計画量

1 収穫

（単位：千m3）

区分	立木販売		製品資材	計
	国有林	官行造林		
主伐	60.1	60.9	0.4	121.4
間伐			84.8	84.8
計	60.1	60.9	85.2	206.2

2 素材生産

（単位：千m3）

区分	予定量	備 考
請負生産	49.9	17件（うち造林事業との組合せ：3件、複数年に亘る契約2件）

3 造林事業

（単位：ha）

区 分	予定量	備 考
植 付	20.3	
下 刈	73.9	
除 伐	7.3	除伐Ⅱ類
保 育 間 伐	658.9	活用型：650.3、存置型：8.6
本数調整伐	11.6	

4 治山事業

区 分	件 数	備 考
国有林野治山 復旧治山事業	2	谷止工 (繰越含む)

5 林道

(単位：m)

区分	林道名	延長	備考
林業専用道	上ヶ成山	300	1 路線 (新設)

IV 優れた自然環境の保全と利用

1 保護林

原生状態の森林や、遺伝的に優れた林分が残されている森林、それぞれの地域の自然を代表する植物群落を有する森林などを「保護林」に指定し厳格に保全しています。

(1) 設定状況

(単位：ha)

保護林の種類及び名称	面積	主な樹種
石鎚山系 森林生態系保護地域	4,245 (嶺北署含)	ウラジログシ・モミ・ツガ・ウラジ ロモミ・シラベ林
小田深山 (遺伝資源) 希少個体群保護林	8	ブナ・カシ類・カエデ類
滑床山ウラジログシ (遺伝資源) 希少個体群保護林	37	ウラジログシ・アカガシ・カエデ類
計	4,290	

(2) 森林生態系保護地域

平成2年4月に石鎚山を中心とした4,245 haが「石鎚山系森林生態系保護地域」に指定されました。

保存地区は、森林生態系の厳正な維持を図る区域としてモニタリング (長期的変化の継続的観察)、生物遺伝資源の利用等の学術研究、その他公益的な利用以外には人手を加えずに自然の推移に委ねる扱いとしています。

保全利用地区は、保存地区に外から環境変化が直接及ばないように緩衝の役割を果たす区域として、開発を伴わない森林レクリエーション等の場として利用する扱いとしています。



タカネオトギリ

【石鎚山系森林生態系保護地域の面積】 (単位：ha)

管轄森林管理署等	保存地区	保全利用地区	計
愛媛森林管理署 (愛媛県)	1,149	2,671	3,820
嶺北森林管理署 (高知県)	81	344	425
計	1,230	3,015	4,245



石鎚山系生態系保護地域



(3) 緑の回廊

国有林では、より広範で効果的な森林生態系の保護のため、これまで個々に保全を図ってきた保護林等を相互に連結して、森林の連続性を確保することにより、野生動植物の生息・生育地の拡大と相互交流を促す「緑の回廊」を設定しています。

愛媛森林管理署管内では、石鎚山から高知県の白髪山を結ぶ回廊として、石鎚山系森林生態系保護地域を始めとする保護林間を連結した「緑の回廊」2,353haを設定しています。

石鎚山地区

四国の脊梁に位置する石鎚山から、高知県の白髪山を結ぶ延長約70km、幅約2kmの回廊です。

平成30年には、愛媛県レッドデータブックで「県内絶滅」とされてきた、国の特別天然記念物ニホンカモシカを、緑の回廊（伊予富士）で確認しています。



優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林を「レクリエーションの森」に選定し、広く国民に森林レクリエーションの場として提供しています。

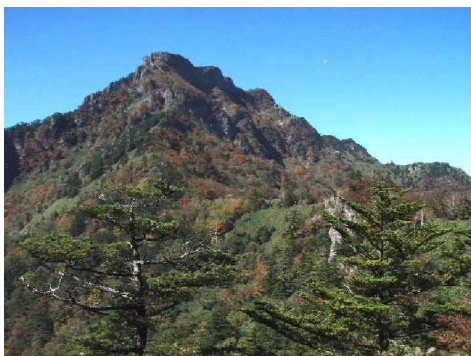
(単位：ha)

名称	面積	関係市町
面河四国カルスト自然休養林	1,502	西条市、久万高原町
瓶ヶ森自然休養林	789	西条市
滑床自然休養林	1,232	宇和島市、鬼北町、松野町
小田深山渓谷風景林	91	内子町
大谷池風景林	165	伊予市、砥部町
堂ヶ森風景林	44	西条市、久万高原町
石鎚風景林	129	西条市
篠山風景林	248	宇和島市、愛南町
成就野外スポーツ施設	34	西条市
計	4,235	

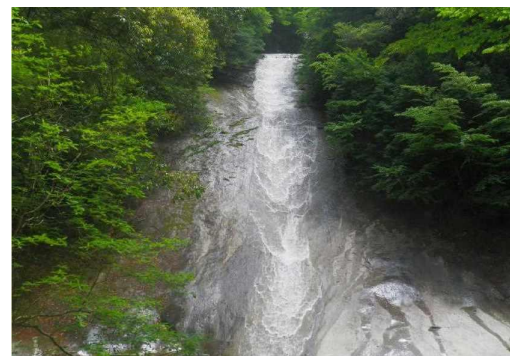
注) 四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

※「日本美しい森 ～お薦め国有林～」

林野庁は、特に優れた自然景観を有し、観光資源としても魅力のあるレクリエーションの森を「日本美しい森～お薦め国有林～」に選定し、当署管内では石鎚風景林と滑床自然休養林が選ばれました。



石鎚風景林



滑床自然休養林(雪輪の瀧)

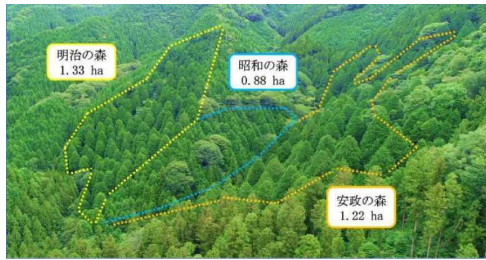
4 水土保全複層モデル林

(1) 遅越山国有林38林班 (久万高原町)

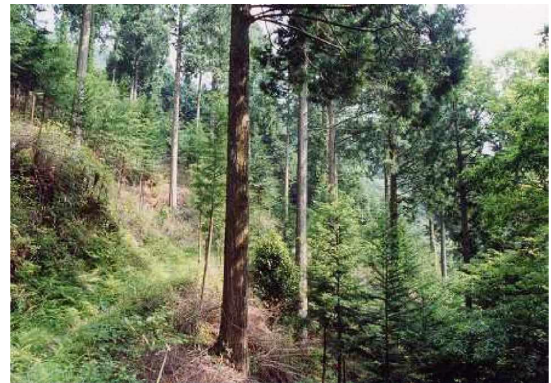
この森林は、久万高原町を流れる久万川の支流有枝川上流に位置する国有林です。

高さ、年齢が異なる木で構成される森林で、このような森林を「複層林」と呼んでいます。上層を占める木(上層木と言います。)の最も高齡のヒノキが、安政6年(1859年)に植えられたことから、地元では、「安政の森」と呼ばれています。

上層を占める木の植栽年数の違いにより、「安政の森」、「明治の森」、「昭和の森」3つの林分があり、三世代に亘る複層林を見ることができます。



遅越山国有林 38 林班の遠景



林内

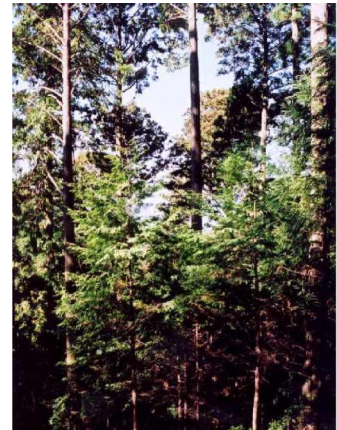
※「水土保持複層モデル林」の概要（遅越山国有林38林班ほ1・ほ2・ほ3小班）

区分	面積 (ha)	樹種	植栽年 (西暦)	林齢 (年)
安政の森	1.20	ヒノキ	上層木 = 安政 6 年 (1859)、中層木 = 昭和 23 年 (1948)、下層木 = 昭和 62 年 (1987)	上 165、中 76、下 37
明治の森	1.33	ヒノキ	上層木 = 明治 43 年 (1910)、下層木 = 昭和 62 年 (1987)	上 114、下 37
昭和の森	0.88	ヒノキ	上層木 = 昭和 23 年 (1948)、下層木 = 昭和 62 年 (1987)	上 76、下 37

林齢：苗木を植栽した年度を 1 年生とし、以後、2 年生、3 年生と数える。

(2) 若山国有林 2041 林班わ小班 (宇和島市)

この森林は、宇和島市の水道水源池の上流にある国有林で、この地域を代表するスギ・ヒノキの複層林となっており、水源のかん養と水質保全を目的として、生活に欠かせない豊かな水の供給や山崩れ防止等の水土保持の機能を高度に発揮させるよう取り扱っています。



面積：4.77 ha

植栽：上木=嘉永 3 年(1850 年) 174 年生

下木=昭和 60 年(1985 年) 39 年生

3 森の巨人たち百選

林野庁では、平成12年4月に次世代への財産として残すべく、国有林内の代表的な巨樹・巨木を「森の巨人たち百選」として選定しました。

四国森林管理局管内では、7本の巨人たちが選定され、愛媛森林管理署管内には久万高原町猪伏山国有林77林班い小班内のトチノキが選定されています。



トチノキ(樹齢：約600年)

4 国立・国定公園、県立自然公園

(単位：ha)

種別	特1	特2	特3	普通	計
瀬戸内海国立公園				114	114
足摺宇和海国立公園	129	763	1,237		2,130
石鎚国定公園	1,850	2,831	1,934	169	6,784
四国カルスト県立自然公園		23			23
皿ヶ嶺連峰県立自然公園	136	254	687	375	1,451
奥道後玉川県立自然公園		141		1,357	1,499
篠山県立自然公園		32	759		791
計	2,114	4,044	4,617	2,016	12,791

注) 四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

V 職員構成・組織機構

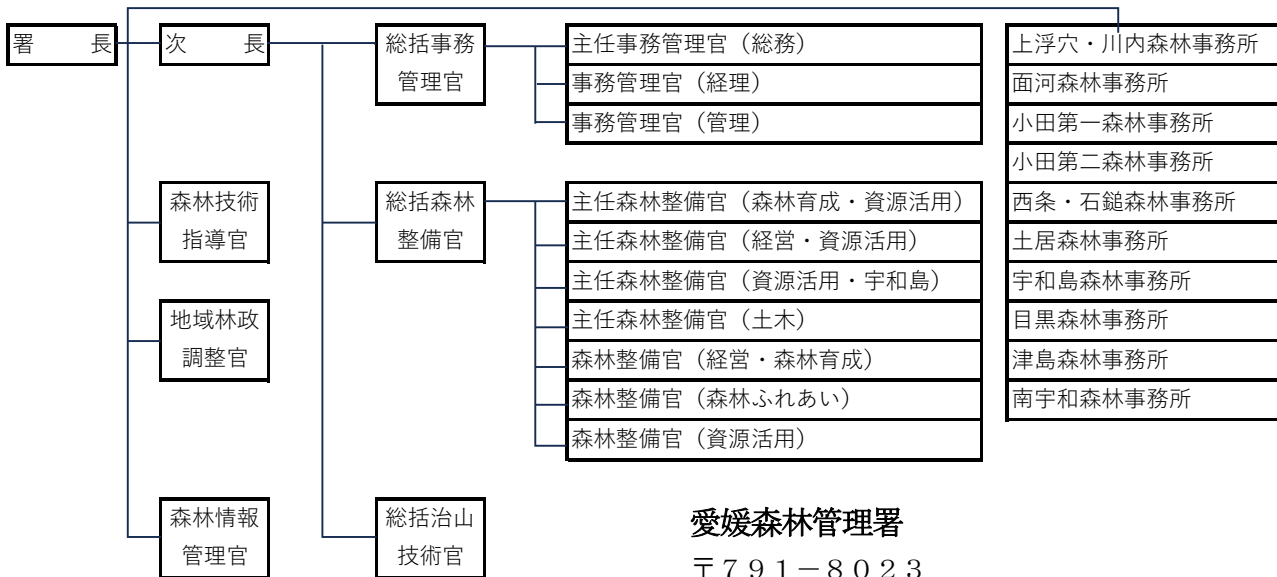
1 職員構成

令和6年4月1日現在（単位：人）

所属	職種	定員内 職員	再任用 職員	合計
本署		24	1	25
上浮穴・川内森林事務所		1	1	2
面河森林事務所		1		1
小田第一森林事務所				
小田第二森林事務所		1		1
西条・石鎚森林事務所		2	1	3
土居森林事務所				
宇和島森林事務所		4	1	5
目黒森林事務所				
津島森林事務所		1		1
南宇和森林事務所		1		1
計		35	4	39

2 組織機構

令和6年4月1日現在



愛媛森林管理署

〒791-8023

松山市朝美2丁目6番32号

TEL：089-924-0550

Eメール：shikoku_ehime@maff.go.jp